

2月からの風しん抗体検査の拡大及び予防接種開始について

風しんの患者が平成30年7月以降大幅に増加しており、中でも東京都、福岡県を含む7都府県においては増加が著しく、国から、特別な対策が必要とされる地域に指定されています。

国は、感染拡大防止のため、12月に緊急的に追加政策（抗体検査の対象者拡大・予防接種を3年の期限付で実施）を発表。これを受け、市でも、これまで保健所で行っていた抗体検査を医療機関に委託するとともに、抗体検査の結果が陰性の人を対象に予防接種を実施するものです。

1. 風しんについて

風しんは、風しんウイルスによっておこる急性の発疹性感染症で、強い感染力を有し、飛沫感染でヒトからヒトへ感染します。感染した場合の症状は、無症状から重篤な合併症併発まで幅広く、特に成人で発症した場合、高熱や発疹が長く続き、関節痛を認めるなど、小児より重篤化することがあります。

また、妊娠20週頃までの妊婦が感染すると、白内障、先天性心疾患、難聴などの先天性風しん症候群の子どもが生まれてくる可能性があります。

2. 久留米市の対応

(1) 抗体検査【無料】

<p>【現行】 (対象者) ①妊娠を希望する女性 ②抗体価が低い妊婦のパートナー</p> <p>(実施場所) 久留米市保健所</p>	<p>【平成31年2月8日～】 (対象者) ①妊娠を希望する女性 ②抗体価が低い妊婦のパートナー ③<u>妊娠を希望する女性のパートナー</u> ④<u>抗体価が低い妊婦の同居者</u> ⑤<u>妊娠を希望する女性の同居者</u> ⑥<u>現在 39歳～56歳の男性</u></p> <p>(実施場所) 受託医療機関</p> <p>国 1/2 補助 : 国の補正成立後 1/2 補助</p>
--	---

(2) 予防接種【無料】

<p>【現行】 実施なし</p>	<p>【平成31年2月8日～】 (対象者) 下記①～⑥のいずれかに該当する人で抗体検査の結果が陰性の人 ①<u>妊娠を希望する女性</u> ②<u>抗体価が低い妊婦のパートナー</u> ③<u>妊娠を希望する女性のパートナー</u> ④<u>抗体価が低い妊婦の同居者</u> ⑤<u>妊娠を希望する女性の同居者</u> ⑥<u>現在 39歳～56歳の男性</u></p> <p>(実施場所) 受託医療機関</p> <p>県が1月から 1/2 補助 : 2月上旬、定期接種化予定</p>
----------------------	--